

支部だより（秋田支部）

令和4年度通常総会開催。常任幹事に小野秀人氏が就任。

令和4年度秋田支部通常総会が、5月25日、秋田市のイヤタカにおいて会員94名（委任状出席56名）の出席を得て開催され、令和3年度事業報告、収支決算報告、令和4年度の事業計画（案）、収支予算（案）が承認された。また、支部役員改選が行なわれ、幹事に新たに就任した本多一義氏（東北運輸㈱）はじめ32名、監事2名が原案通り承認された。

総会を中断し開催された幹事会では、改選された幹事から支部長、副支部長、常任幹事を選出した。支部長、副支部長は再任。協常任幹事の退任に伴い、新たに小野秀人氏が常任幹事に選出された。

再開した総会では、県経協への推薦について審議され、理事5名、監事5名、監事2名を推薦することとし、最後に、新たに幹事となった本多氏、常任幹事退任の脇氏、就任の小野氏が挨拶を行ない総会は終了した。



湊屋支部長支部総会挨拶

「本日はお忙しいところ、秋田県経営者協会秋田支部総会にご出席いただき誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

さて、コロナですが、秋田県内感染者数はやや減少傾向ではありますが、それでも感染者数が3桁と高止まりの日々が続いている状況です。一方で感染者が増えたせいもありますが、最近は身近に感染者が発生しても前ほど驚かなくなってきました。コロナの受け止め方もだいぶ変わってきているように感じています。

新聞の広告は、時の経済状況を写す鏡のようなものですが、ここのところ新聞の折り込み広告にも旅行代理店の広告が入ってくるようになりました。また、最近クルーズ船も2年半ぶりに入港いたしました。先月、県の警戒レベルの変更が発表され、先週にはマスクの着用方針の緩和という政府方針が示されたところであります。基本的な感染対策を維持しつつも緩和すべきものは緩和し経済活動を通常ベースに戻していくというコンセンサスが徐々に言われてきており、たいへん歓迎すべきことと考えております。

この1年間の経営者協会の秋田支部活動も各種セミナーや二水会の勉強会の開催など前年の全面自粛から通常モードに着実に変わりつつある1年となりました。会員のご協力に改めて感謝申し上げます。本日は3年度事業報告、決算報告。4年度事業計画案、収支予算案、そして任期満了に伴う役員選出についてご協議いただくこととなっております。どうかよろしくお願い申し上げます。」

（挨拶の一部を抜粋し掲載しました。文責 秋経協事務局）

